



SAPIENTIA

No.20

発行：聖トマス大学(英知大学)同窓会・サビエンチア会

〒661-8530 兵庫県尼崎市若王寺2-18-1

発行責任者／藤本滝三 編集／サビエンチア会

The Symposium

at St. Thomas Univ.

2009.11.3

tuesday; national holiday

「教会の社会教説綱要(日本語版)」出版記念
カトリック3大学連続シンポジウム

第1回/上智大学(7月4日) 第2回/南山大学(10月3日)
第3回/聖トマス大学
2009年11月3日(火・祝)14:00~

人間共生の在り方と 社会教説

◆ I シンポジウム(無料)

本館3F:301教室

「教会の社会教説綱要(日本語版)」の発行について

マイケル・シーゲル 師

(南山大学社会倫理研究所教授)

「教会の社会教説綱要(日本語版)」翻訳者

【基調講演】

橋本昭一 氏《経済》

(関西大学経済学部教授・聖トマス大学講師・学校法人英知学院評議員)

【パネルディスカッション】

橋本昭一 氏【経済】

(関西大学経済学部教授・聖トマス大学講師・学校法人英知学院評議員)

本田哲郎 師《労働》

(釜ヶ崎反失業連絡会共同代表)

松本信愛 師《いのち》

(聖トマス大学人間共生科教授)

加藤賢一 氏《環境》

(大阪市立科学館学芸員・聖トマス大学講師)

高木慶子 氏《司会とまとめ》

(日本グリーンケア研究所所長・聖トマス大学名誉教授)

◆ II 交流会(無料)

2号館1階:大会議室

池永大司 教職、パネリストの先生方と
ゆっくりお話をいただけます。

主催：聖トマス大学

共催：聖トマス大学キリスト教文化研究所・聖トマス大学後援会
後援：カトリック中央協議会、大阪大司教区、日本グリーンケア研究所

お問い合わせ：

聖トマス大学キリスト教文化研究所 電話/06-6491-5000
〒661-8530 兵庫県尼崎市若王寺2-18-1

いじめごまか



サビエンチア会 会長候補
1973年
文学部イスパニア文学科卒
藤本滝三

平素は同窓会活動にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

私は、2009年4月1日より和田前会長の後任として同窓会会長に選出されました藤本滝三と申します。よろしくお願いたします。

すでに大学からの書面や各新聞紙上の記事等でご承知と存じますが、聖トマス大学では来年度からの新入生の募集を停止することが発表されました。6月6日・7日に保護者に対する説明会が大学の講堂にて開催され、理事長と学長からこれまでの経緯と今後の方針についての説明がありました。同時に我々同窓会役員もこの説明会に参加いたしました。

ここに至った大きな原因として、2000年より定員割れになり、それにもなつて経営状態が芳しくなくなり、それ以来、入学生数の右肩下がりが続いて2008年から経営が急速に悪化したとこのことでした。しかし、これらの問題は突然に発生したわけではなく、すでに叫ばれて20年以上が経ち、その間に

大学も最善の策を取つてこれたと我々は信じていました。2年前にSTUに加盟し、校名も改名しました。同窓会は開学50周年事業の取り組みにも参加したことから、私は大学のこれらの動きに期待し、これで安心と思つた矢先に今回の新入生の募集停止の発表でした。このことがなかなか理解ができず残念で悔しい思いをしております。

学長の説明では「現一回生が卒業する3年半後までは責任を持つて大学を運営する」とのことでした。そしてこの3年半の間に統合・合併の道を探り、生き残りを模索するとありました。

同窓会としては、大学が母校を守るためにどのような生き残り策を進めていくのか、同窓生の我々が3年半後以降も、校舎を引き継いだ新しい学校法人に大手を振つて足を踏み入れることができるように働きかけをする、また学内にはこのまま大学を残そうと頑張つていらつしやる先生方もおられると聞いています。この先生方が今後どのように活動をされていくのか、これらの成り行きを注視していますが、しかし「注視す

募集停止についての説明会

[大学主催]

日時/2009年11月3日(祝)
11時~12時30分

場所/H401号教室(階段教室)

同窓会総会

日時/2009年11月3日(祝)
13時~14時30分

場所/コロクトリウム

るだけで良いものか。

いま、目標を無くしてしまつた大学の中では、教職員の皆さんのモチベーションも下がってくるだろうと思われれます。そのような状況の中でも、現役学生の方々は、聖トマス大学を卒業して良かったと思えるような学内環境を「大学らしく保持していただくよう、学長に要請をしていきたい」と思います。特にこの二点が我々同窓会役員の大kina役割と考えています。

今回の件について大学からの説明は一通の書面のみでした。母校を失う我々卒業生に対してあまりにも簡単すぎると思いませんか?

11月3日(祝)のホームカミングデイにおいて、大学主催で学長直々に説明をしていただく場を設けました。そこで直接学長に皆さんから質疑応答をしていただきたいと思つています。その後、同窓会主催の総会に移り、今後の同窓会活動と、同窓会を維持するための方策を皆さんと討議したいと思つています。母校を愛する卒業生の皆さん、一人でも多くの方々のご参加を切にお願い申し上げます。

おかえりなさい

★2009年11月3日(祝) 11:00~17:00★

welcome to Home Coming Day

2009年度
ホームカミングデイ
のお知らせ

〈スケジュール〉

★11:00~12:30

入学生募集停止についての説明会 by 学校法人英知学院

★13:00~14:30

総 会 by サピエンチア会

★14:30~15:30

Special Live by Chi-Ja(金智子)さん

★15:30~17:00

ビンゴゲーム 今年もまた豪華景品が当たりますよ~

皆さまお誘い合わせの上、ぜひお越しください。お待ちしております~!!
駐車場の都合上、公共交通機関をご利用をお願いいたします。

chi-ja.com about me で検索しました。



シンガーソングライター。大阪府出身。在日韓国人三世。
英知大学 2001年英語英文学科卒業
韓国ソウルに続き、米国ロスアンゼルスでの海外駐在勤務中。2代目コロムビアローズに出会い、師事。
日本アマチュア歌謡祭世界大会ロスアンゼルス代表出場(会場:メルパルクホール)。
帰国後の2003年キングレコード「はじめてのペーサイン」(ナレーター:石田ひかり)に参加 童謡を歌う。
人生初舞台は自身の高校卒業式で 答辞を読む合間に手話コーラス隊と「花」(作詞曲:喜納昌吉)を唄う。

昨年のホームカミングデイ

今年もホームカミングデイが近づいてきました。昨年はたくさんの卒業生に来ていただき、教員・卒業生物故者追悼ミサや、卒業生でゴスペル歌手としてご活躍の大上留利子さんのライブ等、盛りだくさんのイベントで盛り上がりました。しかし一番の楽しみは、やはり何十年ぶりに出会う旧友との再会でした。さて、今年はどうな懐かしい顔を見られるかなあ…。



教職員・卒業生物故者追悼ミサは、ふだんカトリックとあまり関わりのない、信者でない人も一緒に参加します。厳粛な雰囲気の中で行われるミサに感動し、素晴らしい体験ができた好評でした。



ロック&ソウル歌手の大上留利子さんによるミニライブ(1974年仏文科卒)。迫力ある歌声に拍手喝采でした。



アーチェリーで北京パラリンピックに出場された山川八恵さん(1977年仏文科卒)。壇上で一言ご挨拶いただきました。



毎年ホームカミングデイでお手伝いいただいているユースホステル部のOB・OGの皆さん。全員50歳以上です。若いOB・OGの皆さんもお手伝いに来てください。お願いします!!



この日に会わせて毎年OB戦を行っている軟式テニス部の皆さん。次の日、筋肉痛は大丈夫??

篠原一夫 (1978年文学部イスペインア文学科)

同窓会ホームページのご案内

Yahooで「サピエンチア会」と検索してください。写真のようなホームページが現れます。ご存知のとおり、聖トマス大学では来年度より新入生の募集を停止いたしました。同窓会にとっては、メインの収入源でもある入会金が見込めなくなり、活動停止や存続をも危惧する事態です。本誌『SAPIENTIA』の発送も今回が最後となる可能性がございます。このような状況の中で、費用的に安価な手段であるホームページへの掲載が、今後ご連絡する主な手段となります。ぜひこのURLを「お気に入り」に保存してください。

URLを忘れてしまった場合は「サピエンチア会」で検索してください。今後このホームページをさらに充実させて、ときどき見に来ていただけるような魅力あるものにしていく予定です。また卒業生の皆さまからの情報を掲載し、お仕事のホームページへのリンクや宣伝も募集していくことなど、いろいろとアイディアを練りながら検討しています。

篠原一夫 (1978年文学部イスペインア文学科)

サピエンチア会

聖トマス大学 卒業生同窓会

〒661-8530 兵庫県尼崎市若王寺2丁目18番1号

Tel & Fax 06-6498-6258

取扱い時間/毎週火曜日 午前10時~午後5時

E-mail : jimukyoku@sapientiakai.com



〈http://www.sapientiakai.com〉

聖トマス大学同窓会 サピエンチア会事務局

〒661-8530

兵庫県尼崎市若王寺2丁目18番1号

Tel & Fax 06-6498-6258

取扱い時間/毎週火曜日 午前10時~午後5時

E-mail : jimukyoku@sapientiakai.com

編集後記

今年は、新学期から新型インフルエンザによる休校措置、大学の入学募集停止の発表があり、希望の春が失望の季節となってしまいました。それでも容赦なく時間は過ぎて、ホームカミングデイのシーズンを迎えます。この間、開学50周年記念事業合同会議や球技大会、中国人留学生のためのホームステイプログラムへの協力など、例年にない忙しさでした。こんな時期だからこそと、いつものホームカミングデイ以上に充実したものにすべく、役員一同がんばっています。学長の説明会や総会など、堅い行事の後は、楽しいイベントで盛り上がりましょう!!

今年のライブはChi-Jaさん(金智子=2001年英語英文学科卒)がゲスト。東京を始め海外でもご活躍中です。熱いハートを持った彼女の歌をぜひ聴きに来てください。

この大学で学んだこと、出会った友人、先輩、先生方、思い出のすべてが私たちの宝物であり、誇りです。楽しい秋の一日を過ごしましょう!! 皆さんにお会いできることを役員一同楽しみにしています。

西川由紀子 (1981年度文学部英文学科)